

『心臓』 作：ポチ子

『心臓』 作：ポチ子

心臓が痛くても、

胸に手を当ててみれば、

いつも通り動くそいつがいる。

弾むように。

途切れ途切れに。

それならまだ納得できたかもしれない。

当たり前のように、

何も無かったみたい、

ただ一定のリズムを刻むこいつが憎い。

自由自在に、

意識的に、

これを動かすことが出来たなら、

もっとユニークに、

飽きが来ないように、

色々工夫するのに。

そうやって、

それも面倒になった時は、

止めてしまうのだ。

自分の意志で。